

教科	社会科	学年	第1学年	担当者	大槻 穂高
----	-----	----	------	-----	-------

[教科目標]

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を養い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

[使用教科書・教材等]

新しい社会（地理的分野・歴史的分野）東京書籍、地図帳（「中学校社会科地図」帝国書院）、地理の完全学習1、歴史の完全学習1

[学習計画]

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	（地理） ・世界の姿 ・世界各地の人々の生活と環境	・地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分を理解し、世界の地域構成をつかむ。 ・大まかに世界地図を描けるようにする。 ・世界各地の人々の生活の様子を、衣食住の特色や生活と宗教の関わりなどに着目しながらわかる。	<地理> 教科書 ノート 地図帳
	（歴史） ・原始から古代へ	・年代や時代のあらし方がわかる。 ・人類があらわれ、やがて文明が生まれた様子がわかる。 ・原始時代の人々の生活の様子がわかる。 ・国のしくみができる様子がわかる。	<歴史> 教科書 ノート 地図帳
2 学 期	（地理） ・世界の諸地域	・アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカの各州について、自然、産業、生活 ・文化、歴史的背景などについて大きく見て、基礎的・基本的な知識を身につける。	<地理> 教科書 ノート 地図帳
	（歴史） ・原始から古代へ ・中世の日本	・奈良時代の人々のくらしや平安時代の貴族の政治、このころの文化がわかる。 ・武士による政治と人々のくらし、元寇とその影響がわかる。 ・室町幕府と戦国時代の様子とそのころの東アジアとのかかわり、農業の様子や都市や農村のしくみがわかる。 ・鎌倉文化と室町文化がわかる。	<歴史> 教科書 ノート 地図帳
3 学 期	（地理） ・世界の諸地域 ・世界の様々な地域の調査 ・私たちが住む日本	・南アメリカ、オセアニアの各州について、自然、産業、生活・文化、歴史的背景などについて大きく見て、基礎的・基本的な知識を身につける。 ・世界の地域または国について、主題を設けてその地域的な特色を追究し、調査を行う際の視点や方法を身につける。 ・日本の姿を知り、日本の地図が活用できるようになる。	<地理> 教科書 ノート 地図帳
	（歴史） ・中世の日本	・戦国時代～安土桃山時代の織田信長や豊臣秀吉の政治がわかる。 ・武士や大商人などの生活や文化がわかる。	<歴史> 教科書 ノート 地図帳

[評価の観点と評価の方法]（通知表のつけ方）

評価の観点	社会事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識理解
	20%	20%	20%	40%
評価の観点の趣旨	授業に臨む姿勢や家庭学習がしっかりできる。	地理的事象、歴史的事象について、その原因や理由を考へたり、どのような結果になるかを判断できる。	資料（グラフや図、史料など）を読み取ることができる。また、その内容を文章にまとめたり、発表することができる。	地理的事象、歴史的事象の基本的な用語や内容がわかる。
評価の方法	授業中の様子、ノートづくり 授業中の発表や小テスト 提出物の状況	定期テスト部分点 授業中の発表や小テスト 提出物	定期テスト部分点 授業中の発表や小テスト 提出物	定期テスト部分点 授業中の発表や小テスト 提出物

[授業の受け方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

・授業では「覚える」以上に「考える」ことが大事です。「なぜ」「どうして」を大事にして、とことん考えながら授業に参加しよう。
・ノートづくりに力を入れよう。板書を写すだけでなく、説明や疑問点、イラスト、資料などを余白にどんどん書き込んでいこう。
・「主体的な学び」が大事です。挙手や発表を積極的に行い、授業に参加しましょう。毎時間の授業を大事にすること。

[家庭学習の進め方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

・家庭学習では「覚える」ことが大事です。予習・復習の中で、学習した内容を確実に知識として定着させましょう。
・定期テスト10日前には、カードやノートに大事な内容をまとめ、重要用語を覚える学習を開始しましょう。テスト直前には問題集に取り組み、実力を伸ばしましょう。
・新聞やニュースに親しむことによって、社会科で学習した知識に血肉が加えられ、深められます。社会科に対する興味や関心が確実にアップし、学ぶ意欲につながります。